

市民文芸

歌壇

岩崎 聰之介 選

黒き波まともにも受けくづれたる島山の道に
秋の花咲く 後藤今朝雄
疎遠なる祖母の家より電話ありて声変わりし
たる孫の声を聞く 阿部はぎの
青い空 黄金の稲 白い蕎麦 清流に沿い流
す赤バイク 村上 英俊
感謝していただく今年の一等米家族一斉に顔
がほころぶ 遠藤 舞
日本中災害の的か斯かるときは皆助け合ひて
暮らし立ちゆく 佐藤 啓子
汗だくのグラウンドゴルフの後に飲む麦茶は生
気を取り戻さしむ 遠藤 行夫
古りぬれば夜明け遅しとて余し静かに起き
て写経を始む 阿部みさ子
常日頃意志にさからふ弱き身にむち打つ我を
いぢらしく思ふ 荒木喜代子
体育がとても苦手な娘だったのに今朝は早起
き草野球へ行く 鈴木 茂子
折からの雷雨に小すずめブルブルッ羽を震
わす軒の下にて 寺崎 悦子

【評】一首目、凶つ神の仕業かとも。だが、変
わらない花の季の到来。そんな景を飾らずに
写そうと努めておられる。
二首目、交信をきっかけに、お孫さんの成
長を見届けていきたい作者であらう。
三首目、例えば、寒河江川上流域を走る感
じだ。「流す赤バイク」が映える。

俳壇

遠藤 秋尾 選

落葉して夕日大きく見へにけり 岩松 隆志
朝冷えに気早き老いの冬支度 岩澤 伍峯
被災せる白壁のヒビ城の秋 高子たちばあ
萩の露力の限り宿りけり 制野 リエ

柳壇

四電 英夫 選

天高くメタボの事は明日から 阿部みさ子
主婦業の三連休は夢の夢 佐藤 啓子
増税にすぐ思いつく酒タバコ 遠藤 行夫
納豆のねばりを貰う朝の膳 草野 清
円高が招く不況に喘ぐ日々 別当内信夫
動かれるうちは果報と夕支度 阿部はぎの
秋風が背中をぼんと押すような 寺崎 悦子
復興の会議構想まだ見えぬ 斎藤 典子
取りに行き忘れ戻れば思い出す 高子たちばあ
米セーフ知事の笑顔にひとめぼれ 古山さとし

【評】一句目、ダイエットは難しい。ついつい
一日延ばしになるのも人情。「やせてやるこれ
を食べたらやせてやる」となることも。
二句目、主婦の日課は忙しい。炊事、洗濯、
買い物etc.でも「まだ寝てる帰ってみれ
ばもう寝てる」と嘆くご主人もいるのか。
三句目、なかなか止められないのが酒タ
バコ。それを見透かしたような増税論。庶
民のささやかな楽しみまで脅かされる世知
辛さ。

—思いやりのある良質で信頼される医療を目指して—

公立刈田綜合病院紹介



◎公立刈田綜合病院 ☎25-2145

一酸化炭素中毒にご注意ください！

冬が来て、日増しに寒さも厳しくなるこの時期。暖房
が欠かせない季節がやってきました。

震災以降、節電が叫ばれる中、石油ストーブや練炭、
炭火で暖を取る家庭が増えているのではないかと予想さ
れます。気密性の高い場所での暖房には、「一酸化炭素
中毒」の危険が潜んでいます。「一酸化炭素」は、不完
全燃焼に伴って発生する無臭の気体で、非常に強い毒性
があります。

中毒初期は軽い頭痛や吐き気などですが、急速に意識
障害や呼吸障害を来し、死に至ることも稀ではありません。
震災直後に、給油待ちの車内で小型ストーブを使用
していた男性が、一酸化炭素中毒で死亡した事件なども
ありました。白石管内でも練炭などの使用に伴う一酸化
炭素中毒が発生しています。

治療としては、まず中毒の環境から一刻も早く脱出し、
可能な限り高濃度の酸素投与を行うことが肝要です。た
だし、一旦回復しても時間をおいて記憶障害や失禁など
の後遺障害が起こることもあり得ます。

適度に換気を行うことによる予防や、中毒症状を理解
することにより早期の対応ができることが重要と思われ
ます。また、「一酸化炭素警報器」の利用なども中毒の
予防に役立つと思われます。

一酸化炭素は、目に見えず無臭のため危険はありますが、
皆さんのちょっとした注意で中毒の発生を防ぐことが
できるとされます。

暖房器具とは上手に付き合ひましょう。



建物内での炭火などの使用は特にご注意ください

武家屋敷催事「冬至の会」無料入場券

今年には自然災害に悩まされた
1年でした。3月11日の東日本
大震災。その後の余震は1、
400回以上を数えました。そ
して、本復旧の最中に発生した
台風15号。仮復旧箇所の二次被
害の心配が続き、本当に自然の
力の怖さを身をもって感じさせ
られました。

それと同時に、命の大切さや
人の優しさ、人と人が支え合え
る社会の大切さを再確認させら
れた一年でもありました。地域
での共助はもちろん、
姉妹・友好都市にとど
まらず、日本全国から
応援や支援をいただき
ました。それらすべて
が心の底からありがた
く、羨えそうになった
心を奮い立たせてくれ
ました。

そんな中、白石中学校3年生
が「修学旅行で海老名市に感謝
の気持ちを伝えたい」と生徒自
ら発案。9月26日、生徒たちが
海老名市を訪れ、海老名市役所
で感謝の言葉や歌を披露したと
の話を聞いた時、とてもうれし
く思い感激しました。また、本
市の生徒たちは当時の状況をよ
く見ていたし、感謝する気持ち
を忘れない、素直で、自主性の
ある素晴らしい生徒たちに成長
していると確信しました。その

風間市長の風のことやき

「感謝感激」

とてもうれしく思いました。ま
た、訪問が皆さんの企画である
と聞き、とても感激しました。
そこで「皆さんのその優しい気
持ちを、海老名市の多くの人に
受け取ってもらいたい」と思い、
あのような場を設けさせていた
だきました。

修学旅行実行委員長である秋
山さんからの言葉、皆さんから
の心のこもった歌、横断幕、ど
れも、海老名市民一人一人の心
に響いたと思います。来庁した

後、海老名市長より生徒たちに
礼状が届けられたのでご披露し
ます。

白石中学校の皆さんへ
白石中学校3学年の皆さん、
修学旅行はいかがでしたか。
このたびは、貴重な修学旅行
の時間を割いて、海老名市を訪
問していただきありがとうございます。
皆さんが、海老名市
へ感謝の言葉を伝えるに来てく
ださるとの話を聞いたとき、私は

市民の中には、涙ぐんでいる方
もいらつしやいました。

海老名での出来事が、白石中
学校の皆さんにとっても、楽し
い修学旅行の思い出のひとつに
なってくれば幸いです。

これからも協力・支援をしてい
きたいと思います。白石市が一
日も早く復興し、皆さんがいっ
までも元気で過ごしていけるこ
とをお祈りしています。

海老名市長 内野 優

姉妹・友好都市をはじめ、観光大使の山崎
バニラさんや奥州片倉
組の皆さん、声優の森
川智之さん、そして全
国の皆さんから応援と
支援をいただきありが
とうございました。心

より感謝申し上げます。また、
市民の皆さんには、復旧に向け
て元気に頑張る姿を見せていた
だき、敬意と感謝を申し上げます。
共に力を合わせ、一日も早
く白石を復興させましょう。全
国の皆さんの応援に應えるため
にも！

年の瀬を迎え、課題を一つ一
つ克服しながらの復興とさらな
る繁栄を願い、皆さんがより良
き年を迎えられることをご祈念
申し上げます。

まちの話題

～あの日、あの時～

文化の力で絆を深める
第42回市民文化祭

11月2日～3日、「第42回市民文化祭」(主催：白石市文
化協会)が中央公民館で行われました。

展示発表は2日間行われ、7団体の皆さんが制作した
短歌や俳句、川柳、絵画、和紙人形、姉妹都市海老名市
交流作品などが飾られ、来場者は一つ一つの作品を真剣
な表情で見つめていました。

また、11月3日に行われた芸能発表は、観世流能楽師
小島英明さん(白石皐風会主宰)が東日本大震災により亡
くなられた方々を偲び仕舞『融』を披露したほか、19団
体の皆さんが日ごろの練習の成果を披露。太鼓や民謡、
歌謡、舞踊、詩吟などさまざまな分野の発表が行われ、
たくさんの人でにぎわい、次々と繰り広げられる舞台に、
大きな拍手が送られていました。

